

令和7年度

学校推薦型選抜・社会人選抜入学試験

小論文

注意事項

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- 2 この問題冊子は表紙を含めないで3ページあります。解答用紙は3枚です。下書き用紙は1枚あります。
試験中に、問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
- 3 試験開始の合図があったら、まず、すべての解答用紙の所定欄に受験番号を記入してください。
- 4 解答はすべて解答用紙のそれぞれの解答欄に記入してください。
- 5 試験時間は90分です。
- 6 解答用紙は記入の有無にかかわらず、持ち帰ってはいけません。
- 7 この問題冊子と下書き用紙は持ち帰ってください。

次の文章を読んで、問いに答えなさい。

俵万智の『サラダ記念日』の英訳は、実際にはなぜか、もう二つ出ている。(Machi Tawara は Tawara Machi ほど自然に響いてこないかもしれないが、英語の名前としては、いずれにしてもまったく差し①ツカえはない。) この英訳は、後から出た方がよほどよくできているが、現実的にはどちらにしても、アメリカでの売れ行きより日本での売れ行きの方がよいのではないと思う。俵万智のファンで英語に②キョウミをもつ日本人は多いであろうが、一般のアメリカ人にとっては、文化的なギャップが大きすぎる。感覚的にも、『サラダ記念日』の短歌を一般のアメリカ人にも③カンショウしてもらいたいと思ったら、かなりの教育が必要となる。

言葉自体の問題も多い。先に出た英訳のまえがきに、俵万智は、「韻文、ことに五・七・五・七・七の定型を持つ短歌を、英語に訳すなどということが、はたして可能なんだろうか。……心の揺れから生まれる言葉。その言葉がリズムに乗る。そのとき初めて、歌が生まれる。言葉とリズムを別のものに置きかえて、心の揺れが伝わるものだろうか」と、歌人としての不安を述べている。

『サラダ記念日』の翻訳の一つの例として「朝のネクタイ」という第3章の一首を見てみよう。「朝のネクタイ」は父親についての歌である。

電話から少し離れてお茶を飲む

聞いてないよというように飲む

先に出版された英訳は、

- (A) My father sitting
a short distance from the phone,
over his tea.
Drinking as if he is not
hearing a single word.

となっている。それに対して、後から出版された二つ目の英訳は、次のように、明らかに良くなっている。

- (B) Moving away from the telephone
he sips his tea as if to say
“I’m not listening”

(A)と(B)の英語は、いずれも心の揺れから生まれたという感じはまったくしないが、リズム的には、(B)の方がやや歌らしい。

内容的には、大きな違いが二つある。一つは、(A)の場合、父は最初から電話から離れたところに座っていたことになる。

一方、(B)の場合、わざわざ電話から少し離れようと動いているところである。

私は、初めてこの歌を読んだとき、その点をとくに意識したという覚えはないが、どち

らかというと、多分(A)の方のように思い描いたのではないかと思う。しかし、いずれにしても、その日本語の言い方自体は曖昧で、(A)と(B)のいずれともとれるであろう。後で考えてみたら、父親がわざわざ少し離れてお茶を飲む(B)の方が、内容的に「朝のネクタイ」の全体としての④フニキに合っているような気がする。

二つの英訳のもう一つの大きな違いは、日本語の曖昧さが生みだすものではない。それはこの歌の核心となっている次の点である。

(A)は下の句の「聞いてないよというように飲む」を

Drinking as if he is not
hearing a single word.

としているが、その英語の意味は原文と違う。これでは「まるで何も聞こえず、お茶を飲んでいるように見える」という意味である。もとの歌は言うまでもなく、父に聞こえ(hearing)ているかどうかという問題ではなく、意識的に聴いて(listening)いるかどうかという問題である。だから(B)は

he sips his tea as if to say
“I’m not listening”

とする。この言い方ではじめて、父親が娘にわざわざ「聞いてないよ」ということを伝えようとしているところも通じるのである。

私は、特別に俵万智のファンではないが、『サラダ記念日』から、もう一つの簡単な例として、

「おまえオレに言いたいことがあるだろう」

決めつけられてそんな気がする

という一首を考えたい。その「おまえ」と「オレ」を you と me にしてしまい、その上、英語で真似できない「決めつけられて」という表現の⑤カンケツさもなくなってしまうと、その歌の魅力の何が残るだろう。

はたして、これは俵万智の歌だと、人に紹介する意味があるのだろうか。

私は、日本語を英訳するのが大変に苦手である。仕事としても、翻訳ほど精神的に疲れる仕事はあまりしたことがない。原文が好きなものであればあるほど、まず絶望する。もっとも通じてほしいものが、英語になっただけで消えてしまうのである。

日本語の小説は、言葉そのものだけではなく、それ以外にストーリーというものも当然あるから、それを訳して人に紹介する価値は十分にあるが、その場合でも、言葉自体の魅力はある程度諦めるしかない。小説に比べたら、歌は、さらにはるか上に浮かんでいて、手が届かない。

こんな私には、言葉そのものが魅力という歌を英語に「訳」そうという気にはとてもなれない。ためしに、先に挙げた歌を英訳してみても、でき上がったものは無残なものである。

(マーク・ピーターセン『続 日本人の英語』岩波書店による)

問 1 下線部①～⑤のカタカナを漢字になおしなさい。

問 2 波線部「小説に比べたら、歌は、さらにはるか上に浮かんでいて、手が届かない」とはどういうことですか。本文の内容に即して 200 字以内で説明しなさい。

問 3

1) 次の会話文は、高校のクラスの友人同士の電話での会話です。() の中に listen, hear のいずれかを 1 語ずつ入れなさい。ただし、文脈に合わせて、listening, hearing, listened, heard のように正しい形式に変えて解答しなさい。

Noriko: (1) . How about performing a play at the school festival?

Keita: ...

Noriko: Hey, are you (2) to me? I (3) loud music.

Keita: I'm trying to (4), but I can't (5) you in the store.

Hold on a second, I'm going out.

(Keita goes out of the store.)

Noriko: Now are you (6) me?

Keita: Yes, I am (7) you now.

Noriko: What do you think about performing a play at the school festival?

Keita: Hmm... It sounds good to me. Don't just (8) to me though.

Why don't you ask other people's ideas?

2) 本文中の筆者の記述を参考に、1) でのあなたの解答の根拠を 300 字以内で説明しなさい。また、解答で英単語を用いる際は、英語 2 文字～3 文字を 1 マスに記入してください。

問 4 『サラダ記念日』では、二重線部の短歌の後に、以下のような短歌が一首配列されています。点線部の「やさしさ」をあなたはどのように考えますか。本文の内容に則して説明し、その上で、これまでの体験を例にあげ、あなたの考えを 400 字以内で述べなさい。

電話から少し離れてお茶を飲む聞いてないよというように飲む

やさしさをうまく表現できぬこと許されており父の世代は

(俵万智『サラダ記念日 俵万智歌集』河出書房新社)